

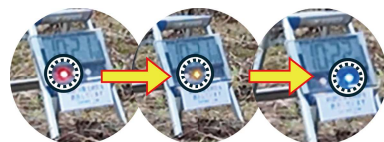
デフリンピック 代表選手選考会取材しました



4年に1度開催されるきこえない・きこえにくい人のオリンピック“デフリンピック”が、今年11月に日本で開催されます。100年の歴史の中で日本での開催は初めてです。

オリエンテーリング競技の日本代表選考を兼ねた大会が4月13日に静岡県で開かれ、岐阜県在住の堤大揮選手が日本代表選手に内定しました！

スタートの合図は音だけでなくランプを使うなど、見てわかるよう工夫されています。競技会場の様子や内定発表の瞬間を取材した動画をYouTubeに公開予定ですので楽しみに！



※「ふれあいWeek」で予定していた堤選手の特別講演は中止になりました。楽しみにしていた皆さま申し訳ありません。改めて講演の機会をつくりますので今しばらくお待ちください。

センターの事業紹介をしました

5月18日(日)、関市で開催された2025年度岐阜県聴覚障害者協会定期総会にて、センターの事業内容や職員の担当業務について紹介させていただきました。また、午後の第72回岐阜県聴覚障害者大会の大会決議の1つに「岐阜県聴覚障害者情報センターの機能を拡充させよう！」と宣言されました。実際、センターは知っているが用がないから行かない、という声もありましたので、センターに行くといい、勉強になるといった活用していただける機能を充実させられるよう企画を考えていきます。また、職員一同明るい対応を心がけてまいります。近くにお越しの際はぜひお気軽にお立ち寄りください。



救命講習を受講しました

ふれあい会館主催の救命講習会があり、センター職員全員が受講しました。岐阜西消防署員の指導のもと、心肺蘇生法やAEDの使い方などを2時間かけて学びました。心臓マッサージは、脳に十分な血液を運ぶために1分間に100～120回の速さで行うのが重要だと教わりましたが、実際にやってみるとペースが速くなってしまい、つい慌ててしまう事に気づきました。

岐阜市では、救急車を呼んでから実際に到着するまで平均7～8分かかります。もしその間に救命措置ができれば、だれかの命を救う手助けができるかもしれません。



皆さんも機会があれば受講してみてもいいかもしれません。

ふれあい会館には6台のAEDが設置されており、2棟2階の放送大学さん所有のAEDは、音声ガイドのほかイラスト動画と字幕で操作方法を説明する機種です。

どこにAEDがあるのか、普段から確認しておくことも大切です。



↑2棟2階
放送大学 ロビー



HP



公式 LINE



YouTube

最近の情報はこちらから！

QRコードを利用すると、情報センターのHP、公式LINE、YouTubeに簡単にアクセス出来ます。

ブックマーク、友達追加、チャンネル登録をよろしくお願いします！

